

## 卒倒しそうな自由 / ズッ友 FOREVER

第 16 期生 岩間 雄亮

これまでの自分にとって、何かを選択するという行為は、数学の整数問題を解くようなものだった。ちようど、与えられた制約条件を使って方程式の解を絞っていくように、自分が置かれている環境を制約として受け入れて、その環境に逆らわずに生きることで、僕は選択の幅を狭めていた。あとは少なくなった選択肢の中から、時々気分では何か 1 つを選べば良いだけなのだから、消去法的な生き方のラクさといったらない。そんな生き方を歓迎していた僕が、何ひとつ制約の無い学問の世界に、(叶うかどうかは幾ばくか議論の余地があるが) 身を投じようとしている。小野ゼミで垣間見た自由の片鱗がどうにも魅力的で、その自由をモノにしたいと思ってしまったからだ。この選択をした以上、これから先、僕に与えられる行動の枠組みの数が、標準的な世間の人々に比べて少なくなることは明白である。時間をどのように使おうと、何を為そうと諦めようと、きっと誰も咎めてくれないし、誰も正しさを断じてくれない。僕を待ち受けているのは、全てが手探りで、試行錯誤を重ねるしかない日々である。楽観主義者ではいられない。少なからず不安である。哲学者セーレン・キルケゴールの言葉を借りれば、この不安の正体は、「自由の眩暈(めまい)」に他ならない。マス・カスタマイゼーションもびっくりの、膨大な選択肢の掛け合わせ。胸が高鳴ると同時に、底の知れない自由と、ちっぽけな自己効力感とのコントラストに目眩を覚える。

「自」らに「由」と書いて、自由と読む。過去の自分がくれる知恵と自信だけが、一寸先の闇を払う炎と覚悟して、前に進んでいくことにする。

### ...ズッ友 FOREVER! ♪(´▽`),

いやね、俺今 2 年間で振り返ってエモエモのエモな気分浸ってるんだけど、同期に恵まれたなって心の底から思います。この勢いで個人宛にメッセージでも書こうかと思ったけど、一言でまとまるようなものでもないし、やめちゃったよ☆でも、我らがゼミ長すずちゃんには、スペシャルサンクスを送らなくてはいいけません。本当にお疲れ様でした。マジで何回も助けてもらいました。すずちゃんがいなくなったら大変です。できれば卒業しないでください。割と真剣です。

みんな本当にありがとう。りょーへいと 132 教室で待ってるからね。あと、毎年 OBOG エッセイ書いてね。納会とかのイベントも積極的に参加してね。三田祭ブースにも来てね。それから、もしよかったら夏 g

